

【平成15年度決算(案)記者会見資料】

契約の状況等

		03年3月期	03年9月期	04年3月期
新契約高	(百万円)	467,550 (168.1%増)	234,673 (8.4%増)	444,001 (5.0%減)
保有契約高	(百万円)	3,314,260 (8.4%減)	3,212,060 (6.7%減)	3,135,754 (5.4%減)
解約・失効高	(百万円)	606,207 (16.1%減)	280,223 (9.7%減)	518,716 (14.4%減)
解約・失効率	(%)	16.75	8.46	15.65
保険料等収入	(百万円)	127,405 (261.0%増)	93,108 (142.9%増)	156,144 (22.6%増)
うち個人保険分野	(百万円)	110,689 (320.3%増)	84,138 (167.2%増)	139,525 (26.1%増)
うち団体保険分野	(百万円)	14,735 (66.3%増)	7,010 (3.1%増)	13,371 (9.3%減)
第三分野の新契約年換算保険料	(百万円)	()	()	601 ()
(ご参考)				
第三分野の保有契約年換算保険料	(百万円)	()	()	8,237 ()

- *個人保険+個人年金保険 * ()内は前年同期比増減率
 *解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出
 *保険料収入は損益計算書ベース
 *保険料収入の個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料
 *年換算保険料は、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払等除く)

資産の状況等

		03年3月期	03年9月期	04年3月期
総資産額	(百万円)	613,651 (2.5%増)	659,755 (12.2%増)	682,282 (11.2%増)
実質純資産額	(百万円)	33,675 (186.1%増)	31,257 (1.3%減)	34,638 (2.9%増)
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	6.2	6.0	6.9
ソルベンシーマージン比率	(%)	1031.9	959.1	984.8

* ()内は前年同期比増減率

基礎利益・逆ざや・利回り等

		03年3月期	04年3月期	05年3月期予想
基礎利益	(百万円)	3,252 ()	3,153 ()	30億円

* ()内は前年同期比増減率

		03年3月期	04年3月期	05年3月期予想
逆ざや額	(百万円)	6,859 (43.8%増)	3,993 (41.8%減)	40億円

* ()内は前年同期比増減実額

		03年3月期	04年3月期	05年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	0.90	1.34	1.31
運用利回り(一般勘定)	%	0.61	1.34	1.23
平均予定利率	%	2.29	2.21	2.20

(ご参考)

		03年3月期	04年3月期	05年3月期予想
時価利回り(一般勘定)	%	1.45	0.70	

準備金

		03年3月期	03年9月期	04年3月期
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	550,152 (1.8%増)	600,312 (14.7%増)	625,140 (13.6%増)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	478,000 (8.6%減)	460,076 (8.2%減)	447,794 (6.3%減)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	72,152 (315.6%増)	140,235 (530.5%増)	177,345 (145.5%増)
価格変動準備金	(百万円)	101 (1,162.5%増)	158 (316.2%増)	194 (92.1%増)
危険準備金	(百万円)	174 (312.2%増)	353 (239.1%増)	465 (166.8%増)
うち危険準備金	(百万円)	174 (312.2%増)	353 (239.1%増)	465 (166.8%増)
うち危険準備金	(百万円)	-	-	-
危険準備積立金(注)	(百万円)	-	-	-
価格変動積立金(注)	(百万円)	-	-	-
別途積立金	(百万円)	-	-	-

* ()内は前年同期比増減実額

* 剰余金処分後の残高を記載

含み損益

		03年3月期	03年9月期	04年3月期
有価証券	(百万円)	4,897 (4,749増)	484 (3,464減)	1,604 (3,293減)
うち国内株式	(百万円)	2 (2減)	39 (25増)	99 (102増)
うち国内債券	(百万円)	4,968 (4,923増)	710 (3,275減)	929 (4,039減)
うち外国証券	(百万円)	650 (843減)	1,245 (833減)	855 (205減)
不動産	(百万円)	11 (235減)	- (82減)	- (11減)

* ()内は前年同期比増減実額

* 有価証券の含み損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。

* 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価は実施しておりません。

運用実績と計画

		03年度実績	04年度計画
国内株式	(百万円)	18減	横ばい
国内債券	(百万円)	6,856減	微減
外国株等	(百万円)	7,938増	横ばい
外国債券	(百万円)	3,147増	横ばい
その他の証券	(百万円)	4,897減	微増
不動産	(百万円)	49減	横ばい

* 2003年度実績は、帳簿価額ベースでの増減額を記載しています。

資産の含み損益がゼロになる株価水準(04年3月末時点)

日経平均株価	(円)	11,100円程度
TOPIX	(ポイント)	1,120程度
国内債券(バラレルシフトの場合)	(%)	1.5%程度
国内債券(ステーブ化の場合)	(%)	1.5%程度
外国証券	(円)	114円程度

* 国内債券は新発10年国債利回り換算し、小数第一位まで算出

* 上記数値は、当社のポートフォリオが日経平均株価やTOPIX、新発10年国債利回り、ドル円レートに連動すると仮定し、2004年3月末時点の保有状況により試算した結果です。ただし、当社のポートフォリオはこれらの指標に連想するとは限りませんので、試算時点によりこれらの数値は異なります。

* 国内債券は、“バラレルシフト”では3月末実績のイールドカーブが平行移動した場合の、“ステーブ化”では短期金利は現状のゼロ金利のままに残存期間の長い金利ほど、より上昇すると仮定した場合の含み損益がゼロとなる新発10年国債利回りの試算値を記載しております。

* 外国証券はドル円換算にて算出いたしました。

05年3月期の業績見通し

		05年3月期予想
保険料等収入	(億円)	1,340
基礎利益	(億円)	30
保有契約高	(億円)	31,080

銀行との資本持ち合いについて

銀行からの拠出

		総額
基金に対する拠出	(百万円)	-
劣後ローン等	(百万円)	-

* 銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	2,504
優先株(海外SPCへの出資)	(百万円)	-
優先出資証券(海外SPC等への出資)	(百万円)	-
劣後ローン等	(百万円)	14,995

* 銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

* 銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

職員数

		03年3月期	03年9月期	04年3月期
営業職員	(人)	940	948	954
内勤職員	(人)	500	493	487

* ()内は前年同期比増減率

銀行窓販の状況(03年度 新規契約)

	(件)	新契約件数	(百万円)	金額(収入保険料)
変額年金保険	(件)	12,538	(百万円)	83,029
定額年金保険	(件)	-	(百万円)	-

その他

)今後の自己資本強化策

・現在のところ、当社は十分な自己資本を有しており、具体的な資本増強計画はない。

)今後のリストラ計画

・個社としてコスト削減やリストラを十分に進めてきたと認識している。T & D保険グループ全体で持株会社の下、重複している部分を統合によりスリム化する追加的な削減・ITや共同の事務サービス会社等により、管理(事務)部門を削減する。

)予定利率引下げを可能とする改正保険業法に関する見解

・保険業法では、「保険業の継続が困難となる蓋然性がある場合」のみが対象で、保険会社から申請することが前提となっている。
 ・当社は十分な健全性を有しており、事業の継続にも何ら問題ない。
 ・したがって、既契約の予定利率の引下げは全く考えていない。

以上